

2022（令和4）年度学校経営方針

町田市立南つくし野小学校 校長 平田 勇治

町田市教育プラン（2019～2023）教育目標「夢や志をもち、未来を切り拓く町田っ子を育てる。生涯にわたって自ら学び、互いに支え合うことができる地域社会を築く。」の実現に向けた教育を推進します。

- ①一人一人の子供の「その子らしさ」を最大限伸ばす適切ななかかわりを追求できる教職員集団を育成
- ②誰もが「できた、分かった」を実感するように授業のユニバーサルデザイン化を推進
- ③人権尊重を基盤にいじめ・不登校の早期発見・早期対応、服務事故ゼロを継続
- ④一人一台のタブレット端末を生かした教育の個別最適化や「えいごのまちだ」事業を推進
- ⑤まちとも事業、コミュニティ・スクール、地域と協働した学校づくりを推進

コロナ禍等の社会情勢を踏まえ、健康・安全を第一に考えながら、できることを考え、内容を工夫し、本校の特色ある教育課程を実施します。

1. 学校教育目標、基本方針

◆学校教育目標◆

- 元気な子（自分から心と体を鍛え、課題に取り組む子「実践力」）
- 考える子（すすんで学び、考えながら課題に取り組む子「問題解決力」）
- 思いやりのある子（やさしい心をもち、自分も他の人も大切にする子「人間関係形成力」）
- やりとげる子（諦めずに最後まで努力し続ける子「忍耐力」）

◆めざす学校像◆

- ① 児童一人一人の個性や可能性を伸ばし、自立と共生の基礎を培う学校
- ② 保護者・地域に信頼される、安全で挨拶あふれる学校
- ③ 教職員が一致団結、一人一人が力を発揮する笑顔と活力のあふれる学校

◆めざす児童像◆

- ① 健康で安全な生活を実践し、体力の向上に努めるたくましい子
- ② みんなと協力し、自ら学び、伝える力を高め、確かな学力を身に付ける子
- ③ 人間の多様性を認め合い、思いやりのある豊かな心と行動力をもつ子
- ④ 未来への夢や目標をもち、その実現に向けて努力し続ける子

◆めざす教師像◆「全教職員で、全児童を育てる」をモットーに

- ① 子供を信じ、子供と心通わせ、子供と信頼関係を築いていく、子供の成長のために資質向上に努める教師
- ② 学校教育目標の達成を目指した教育活動を、共通認識・共通理解のもと日々実践する教師
- ③ 家庭・地域との連携を深め、学校との信頼関係を高める教師

◆学校教育目標を達成するための基本方針◆（○は重点項目）

- ㊦ 学校運営協議会を設置し、地域や保護者とともに目指す学校像や育てたい子供の姿を共有し、学校教育目標の実現を目指す。
- ㊧ 「思いやりのある子」の育成のため、人権の意義・内容や重要性について理解し、自他のよさを認め、共生の心を育み、いじめ防止に努め、人権教育を推進する。
- ㊨ 「考える子」の育成のため、自立的な学びと協働的な学びを教科横断的に設定して、ICTを活用しながら、主体的・対話的で深い学びを実現する教育活動を推進する。
- エ 生命尊重、あいさつ・言葉遣い、ルール・マナーに係る内容に重点を置いて規範教育を推進し、道徳教育を充実させて思いやり的心を育み、特別活動で実践力・社会性を育成する。
- オ 「元気な子」の育成のため、体力向上推進プランに基づいて、体力の向上・健康の維持増進を図る教育活動を推進する。
- カ 「町田市いじめ防止基本方針」等の資料を活用し、学校いじめ対応チームを中心にいじめ防止や不登校対策、自殺予防に関する取組を充実させることにより児童が安心して通うことのできる学校の実現を図る。
- キ 特別な支援を必要とする全ての児童の教育ニーズを把握するとともに、学校生活支援シートや個別指導計画を作成し、合理的配慮も踏まえた適切な指導や支援を行う。
- ク 最新の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～」に基づき、感染症対策を徹底し、児童・教職員の健康を守りながら、教育活動の維持・向上を図る。
- ケ 町田市版接続カリキュラムを活用し、アプローチカリキュラムを踏まえ、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割設定など、スタートカリキュラムを編成し、入学指導にあたる。また、小中連携により9年間の系統性を確保し、学校間の連携・接続に関する現状と課題を共有することで、接続を円滑にする。
- コ 「やりとげる子」の育成のため自立心を醸成し、めあてをもってやりとげる活動を重視し、特別活動や総合的な学習の時間の充実を図り、勤労観・職業観を育むキャリア教育を推進する。

2. 教育活動の重点課題と具体的な方策〔町田市教育プランの具現化を根底に〕

確かな学力の育成	<p>☆外国語・外国語活動のわかりやすい授業を実践する。（T1としての指導力の向上、教科書・副読本・その他の教材の活用、評価の理解と実際、低学年での活動事例開発、校内の外国語環境整、MEPS・ALT・教育機器の活用）</p> <p>☆ICT機器やGoogle for Educationを活用して、児童の学習意欲の向上、個別最適な学習が進められる工夫をし、知識・技能を定着させる。（そのために必要な研修・研究の推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の5つの約束」（学習準備、忘れ物ゼロ、よい姿勢、聴く・考える・手を挙げる、話形の活用）を徹底することで、学習に向かう基本的な姿勢を身に付けさせる。 ・町田市スタンダード授業改善シートに基づいた授業改善に努め、授業技術を向上する。
健やかな体の育成	<p>☆新型コロナウイルス感染症、地震・風水害などの自然災害への対策など、危機管理情報を校内で共有し、感染症対策を徹底する（3密防止、マスク・手洗い・換気、等）。</p> <p>☆狭い敷地・校舎内での過ごし方、狭い校庭での遊び方を考えさせ工夫する中で、学校のきまりやSNS対応、情報モラル・マナーを周知・指導し、それを守った安全な生活を送るようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町田市アクティブプランに則り、体力テストの結果を生かして体育科授業の工夫・充実を図り、体育旬間の活用と合わせて基礎体力を向上させる。 ・担任・養護教諭・栄養士が協調し、家庭と連携した健康教育と食育を推進する。
豊かな心の涵養	<p>☆道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める道徳授業づくりを研究し、児童の道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</p> <p>☆いじめの見逃しをゼロにし、いじめ・不登校等の問題の早期発見・早期解決を行う（心のアンケートを活用した指導、校内報連相の徹底、家庭連絡・保護者連携を徹底する）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師自ら率先して挨拶し、将来の社会人としての基礎、よりよい人間関係を構築する基盤作りとして、挨拶の習慣化を徹底する。挨拶の輪の取り組みを児童委員会にも拡充していく。 ・読書タイムや本に親しむ時間を増やし、児童の読書意欲を高め、読書量を増やす。 ・いろいろな人との人間関係構築力の育成のため、毎年・全学年でのクラス替えを継続する。
社会に関わられた教育課程	<p>☆ホームページ、学級だより、クラスルームなど多様な手段を活用して、家庭や地域に情報発信を安定したペースで行う。</p> <p>☆Chromebookを用いた家庭学習の仕方を紹介し、学校と家庭とが共通認識をもって家庭学習に取り組めるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者への連絡・相談を、誠実かつ細やかにいき、できることはその日に解決するなど迅速に対応する。 ・コロナ禍であっても可能な形での学校公開の形態を工夫・追究し、チャレンジ精神をもって実施する。 ・コミュニティ・スクール、新まちとも（放課後こども見守り事業）の実施を契機に、地域との連携を包括的・組織的なものにする。

3. 地域、保護者、行政との連携

本年度は昨年度同様、学校公開、地域の中学校をはじめとした他の団体・個人との連携の難しさが想定される。社会情勢の許される範囲の中で、連携を推進・強化していく。

- ・つくし野中校区の小中学校との共通スタンダードの定着を目指した小中9年間を見通した指導
- ・地域の教育力を生かした活動〔自然環境、施設、人材等、VCとの連携〕
- ・地域の方との交流活動 ⇒ 何をしていただけるか、だけでなく、何ができるかを考えた連携へ
地域行事への参加、効果的な広報活動で学校の活動紹介

4. 教職員のサービスと健康管理

- ・教育公務員として自覚をもち、サービス事故防止（個人情報漏えい、体罰、他）を徹底する。
- ・教師は子供に寄り添い、目をかけ手をかけ心にかけて指導することを忘れない。怒りをコントロールし、心に届く言葉、接し方など、指導の工夫を追究する。
- ・勤務時間を無限とせず、終わりの時間を決めて仕事を終える。校務改善にICT機器を有効活用する。
- ・学校閉庁日の設定、教員の時間外労働の短縮、ライフ・ワーク・バランス（定時退勤日）の推奨、学校の電話対応時間の短縮などについては、保護者・地域へ周知し理解を求める。男性の育児参加を推奨する。